

看護部

渡津千代子

平成 27 年度は、「病院の更新築を進めるために、年度目標を確実に達成し、経常収支を改善する」の運営基本方針のもと、新たに救命救急センターの後方受け入れとしての精神科病棟（4 床）の設置に早期から取り組んだ。看護部目標は「安全・安心で信頼できる看護を提供する」「看護実践能力の高い人材を育成する」「積極的に経営に参画する」「働きやすい職場環境をつくる」とし、特に精神科病棟設置への職員への働きかけ、また看護部として訪問看護等支援室の設置に力を入れた。

6 月に毎年実施している看護部のキャリアニーズ調査に精神科病棟の項目を入れ関心のある人、将来働いてみたい人を中心に早期から面接を行い看護師長他 17 名の看護師を配置した。精神科の専門である「やまと精神医療センター」での研修や、関連する研修会に積極的に参加してモチベーションを高め、主体的に院内の関係者と定期的な話し合いを進め、予定どおり 10 月に設置することができた。一方、前病棟に 2 名配置の副看護師長のうちの 1 名を中心として看護部に訪問看護等支援室を立ち上げた。当院の政策医療関連で、終末期、ストーマ造設、慢性心不全、脳卒中のリハビリ、HIV/AIDS の患者さんたちに意図的に関わっていきけるポジションとした。訪問看護ステーションの看護師とシームレスな連携を目標として地域包括ケアへの一歩を踏み出した。

看護研究業績への取り組みでは、看護研究計画審査委員会の動きがスムーズになり、計画段階での介入に力をいれることができた。その結果、著述（4 題）、発表は第 69 回国立病院総合医学会（7 題）とシンポジウム（2 題）、第 31 回日本環境感染学会学術集会（1 題）、第 17 回医療マネジメント学会学術集会（1 題）、第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会（1 題）、第 13 回国立病院看護研究学会学術集会（1 題）、第 79 回日本循環器学会学術集会（1 題）、第 20 回日本緩和医療学会学術大会（1 題）、第 4 回日本放射線看護学会学術集会（1 題）、第 20 回日本糖尿病教育看護学会（1 題）、第 57 回近畿地区国立病院看護学会（3 題）、第 17 回大阪糖尿病協会会員総大会（1 題）、日本手術看護学会近畿地区学会（2 題）、講演は大阪府看護協会、その他等 20 題であった。

当院には現在、急性・重症患者看護専門看護師 1 名、慢性疾患看護専門看護師 1 名、母性看護専門看護師 1 名、認定看護師としてがん性疼痛看護 3 名、がん化学療法看護 1 名、緩和ケア 2 名、乳がん看護 1 名、がん放射線療法看護 1 名、救急看護 2 名、集中ケア 1 名、皮膚・排泄ケア 1 名、感染管理 4 名、糖尿病看護 1 名、慢性心不全看護 1 名、脳卒中リハビリ看護の計 22 名と HIV コーディネーター 5 名、臨床研究コーディネーター 6 名、合計 32 名のスペシャリストがいる。JNP（日本版診療看護師）は 4 月には 8 名となりよりチーム医療の充実に向け活躍が期待されている。研究の質の向上と共に、人材の育成・活用に努め、地域包括ケアにおける急性期医療を担う当院の役割を果たしていく所存である。

【2015 年度 研究発表業績】

A-4

高田幸千子：モニターアラームにかかわる問題点を整理する「患者安全推進ジャーナル」2015

No40.P10-17、公益財団法人日本医療機能評価機構、2015年6月

上みゆき、橋本礼香：開心術後患者の病棟と外来をつなぐ看護「循環器ナーシング」Vol.15 No12：P30-48、医学出版、2015年12月号

東有紀子：看護師長としての経営改善への取り組み～経営改善担当師長を中心としたプロジェクトチームの取り組み～「病院羅針盤」Vol.6 No.73：p.49-55、産労総合研究所、2016年1月15日

川上浩美、高田幸千子：看護助手の職務満足向上・定着を実現するための継続教育～看護師の業務負担軽減、勤務体制の見直し、師長との連携～。「ナースマネージャー」Vol.18 No1:P33-38、日総研、2015年3月

B-3

坪倉美由紀：当院におけるCRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）検出状況とその対策。第28回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

下司有加：心理療法士の役割と今後の期待 看護師の立場から。第28回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月3日

B-4

苺山有香、高田幸千子、福峯美智代：心疾患患者の入院中におけるせん妄及びせん妄様症状の出現状況とEFとの関連性に関する研究。第79回日本循環器学会学術集会、大阪、2015年4月26日

山根美由紀：職場環境活性化に向けた取り組み ～お互いを認め合える職場環境を目指して～。第17回日本医療マネジメント学会学術集会、大阪、2015年6月11日

道川綾加：大阪医療センターにおけるPWA（People wish AIDS）サポートチームの活動報告。第20回日本緩和医療学会学術大会、横浜、2015年6月20日

三木美子：高線量率密封小線源治療における線源閉鎖自己対応訓練の実践報告。第4回日本放射線看護学会学術集会、鹿児島、2015年9月11日

道川綾加、大塚由紀、苺山有香、増田雅子：A病院のエイズ看護プロジェクトメンバーが病棟活動の際に感じる困難感。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

岡本紀子、福田愛香、山根美穂、藤川 幸、増田雅子：与薬インシデントに関する看護師の意識・行動の変化。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

井上日向子、谷本静香、横山仁美、内田沙織、江藤 愛、大久保総、松岡幸枝、山内紀美：与薬時の確認行動における看護師の意識に関する調査～6R実施状況チェックを用いて～。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

窪田紀子、高田幸千子：当院における IV ナースの活動状況。第 69 回国立病院総合医学会、札幌、2015 年 10 月 3 日

川元晃一、福島弘子：A 病棟看護師の身体抑制に対する認識の変容～身体抑制に対する教育活動の評価を通して～。第 69 回国立病院総合医学会、札幌、2015 年 10 月 3 日

北潟歩美、松崎訓子、小鷹健一、舟坂朝子、渡辺 彩、渡邊由紀、東有紀子：来院時から rt-PA 静注開始までの初期対応の実態調査～DTN60 分以内を目指して～。第 69 回国立病院総合医学会、札幌、2015 年 10 月 3 日

吉村麻美、丸山亜也加、布施ひとみ、高橋琴美、中村浩子、向井領子：当院 CCU 看護師のせん妄に対する認識～ICDS 導入の取り組みを通して～。第 69 回国立病院総合医学会、札幌、2015 年 10 月 3 日

北川 愛、里村友子、八木未来、水野敬子：無菌室入室患者の心理的変化。第 13 回国立病院看護研究学会学術集会、千葉、2015 年 11 月 28 日

道川綾加、矢嶋敬史郎、廣常秀人、富島公介、岡本 学、安尾利彦、増田雅子、渡津千代子、上平朝子、白阪琢磨：PWA サポートチームの活動における心理者的問題への介入の検討。第 29 回日本エイズ学会学術総会、東京、2015 年 12 月 1 日

山尾美希：食へのこだわりを強く持つ糖尿病性腎症患者へのアプローチ～腎症病期が改善した 1 事例を振り返って～。第 20 回日本糖尿病教育看護学会、高松、2015 年 9 月 21 日

坪倉美由紀：当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）アウトブレイクの経過と対策の評価。第 31 回日本環境感染学会学術集会、京都、2016 年 2 月 19 日

B-5

高田幸千子：大阪医療センター IV ナースの次の一歩。近畿地区国立病院 第 57 回看護学会、大阪、2015 年 10 月 31 日

山尾美希：透析予防外来について～腎臓を守るために～。第 17 回 大阪糖尿病協会会員総大会、大阪、2015 年 9 月 7 日

B-6

尚和敬宗：手術室看護師の術前・術後訪問に関する意識変化～振り返りの会を実施して～。第 2 回日本手術看護学会 近畿地区学会、大阪、2015 年 6 月 13 日

河野亜沙美：家庭を持つ手術室看護師が抱く困難とやりがい。第 2 回日本手術看護学会近畿地区学会、大阪、2015 年 6 月 13 日

菅野生子、中村恵理子、正井佐和：妊娠期の防災意識に関する調査。近畿地区国立病院 第 57

回看護学会、大阪、2015年10月31日

升岡 愛、清水愛莉、田中正隼、田中里佳、梅原美加子、川上浩美：患児の就寝・起床時の看護師のケアの実際。近畿地区国立病院 第57回看護学会、大阪、2015年10月31日

B-8

東美由紀：オストメイトのQOLの向上。公益社団法人 日本オストミー協会関西支部「友起会」、2015年6月27日

下司有加：あの人最近きてないね そんな時どうする？第20回 東海 HIV 感染症研修会、2015年6月27日

下司有加：訪問介護に於ける HIV/AIDS の利用者支援について。社会福祉法人 高槻市社会福祉事業団、2015年7月8日

東 政美：HIV/AIDS の診療と看護の現場から。HIV と人権・情報センター（JHC）、2015年7月11日

鈴木智子：平成27年度救急看護認定看護師教育課程 救急看護技術 ペインコントロール。公益社団法人大阪府看護協会、2015年7月16日

嶋津享子、鈴木智子、増田真二、池嶋一也：2015年度災害看護における初期医療支援活動①②。公益社団法人大阪府看護協会、2015年9月30日・10月13日

山下寿美子：H27年度救急看護認定看護師 初期対応技術トリアージ。公益社団法人大阪府看護協会、2015年10月7日

東美由紀：ストーマケアの知識を知ろう。株式会社ホリスター、2015年10月24日

渡津千代子、高田幸千子：看護管理者として組織の中で役割が発揮できる。和歌山大学医学部附属紀北病院、2015年10月24日

下司有加：HIV チームにおける看護師の役割。厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業、2015年10月24日

中濱智子：平成27年度「みんなで話そう 看護の出前事業」。公益社団法人大阪府看護協会、2015年10月27日

山尾美希：慢性疾患看護について。医療法人仁和会 和田病院、2015年10月21日・11月18日

山尾美希：第17回大阪糖尿病協会特別講演。大阪糖尿病協会、2015年11月12日

下司有加：HIV 陽性者への地域支援について。大阪府吹田保健所、2015 年 11 月 14 日

渡邊由紀、山下寿美子：平成 27 年大阪府医師会 災害外傷初期診療研修会。大阪府医師会、2015 年 11 月 23 日

坪倉美由紀：感染対策研修会。社会医療法人愛仁会 高槻病院、2015 年 12 月 15 日

東美由紀：皮膚・排泄ケア看護の実際。医療法人永寿会 福島病院、2015 年 12 月 16 日

東美由紀：平成 27 年度（第 4 回）福祉用具プランナー研修「床ずれ防止関連用具」。フランスベッド・メディカルサポートケア研究・助成財団、2016 年 1 月 23 日

高田幸千子：管理者のためのリスクマネジメント スタッフへの医療安全教育。大阪府看護協会、2016 年 1 月 28 日

下司有加：在宅医療における HIV 感染者への看護。全国訪問看護事業協会、2016 年 1 月 30 日

四方文子：第 1 回 がん治療と妊孕性温存勉強会。医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック、2016 年 3 月 6 日